このコーナーでは、誰かにすすめたくなる伝統的工芸品や物産など、「大崎市自慢の逸品」を毎月紹介しています。

岩出山地域発

長い歴史の中で培われた、地域が誇る伝統的工芸品

【しの竹細工】

岩出山第四代城主・伊達村泰公が武士の手仕事として奨励し、以来三百年以上作り続けられてきた岩出山地域の「しの竹細工」。職人の技が受け継がれた、伝統的な工芸品です。

日常生活の実用品として作られ始めたしの竹細工は、長い歴史の中で、多くの人に愛用されてきました。材料のしの竹は地域に自生しているものを使用し、採取した竹を洗って割り、皮をはいで幅を決めていきます。竹細工指導員の千葉文夫さんは、「商品として売り出せるものを作るまでには二、三年はかかります」と竹細工の難しさを話します。完成度の高いものを作るまでは、長年の経験が必要です。工人の指先の感覚や竹の形・質感など、作る際の条件が微妙に違うだけで、一つとして同じものはできないそうです。

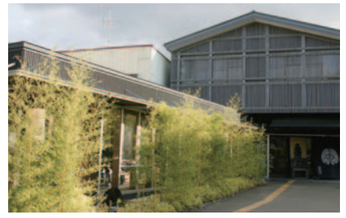
皮の部分を使い、なめらかな表皮を内側にして編みこんであるしの竹細工は、指に優しく水きれがよいという特徴があります。手に取って見ると、編み目の美しさや高度な技術に驚かされます。

代表的な商品は、米とぎ用のざるや、あずきをつぶしてこしあんを作るためのざる、野菜の水切りなどに使う目かごなどで、台所で活躍するものを中心に、約三十種類の商品が作られています。

岩出山地域の竹工芸館では、実際に作業しているようすを見学できるほか、手作り体験教室を開催しています。竹細工指導員の丁寧な指導のもと、竹の柔軟さや弾力性を感じながら、世界に一つの自分だけの実用的な作品を作ることもできます。

しなやかで力強い芸術品を、ぜひ一度、あなたも感じてみませんか。

◀受け継がれた技術を駆使し、一つひとつ心を込めて丁寧に仕上げていきます。手先を器用に使いこなしテンポよく作業を進める職人技に驚きます。



▲「竹工芸館」では、さまざまな種類の竹細工を見ることができます。また、手作り体験教室にも参加できます。

住所：岩出山字二ノ構 115

※手作り体験教室に参加したい人は、1週間前までにご連絡ください。

問　竹工芸館
☎ 73-1850　FAX 73-1851

金属と対話しながら　自分の中のイメージを形にしています

金属造形作家
新田亜紀子さん（三本木）

三本木の自然豊かな里山の中で、訪れる人を優しく迎えてくれるアトリエ「遊彩工房 花言葉」。金属造形作家・新田亜紀子さんの作品が展示してあるギャラリーです。

繊細で豊かな感受性を思わせるさまざまな作品。その一つひとつから、彼女のその時々の感情があふれ出て見る人に伝わってくるようです。「自然の植物や風景を自分のイメージに置き換えたり、自分の中の感情を形にしていくんです」と、柔らかな口調で作品のテーマについて話します。

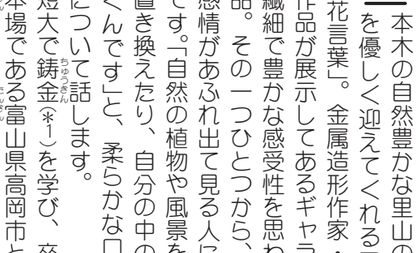
短大で鋳金(＊1)を学び、卒業後は金属工芸の本場である富山県高岡市と石川県金沢市で彫金(＊2)や鍛金(＊3)などの技法を習得。厳しい試験に合格し入所した金沢卯辰山工芸工房を今春修了、これまでたくさんの美術展で入賞しています。

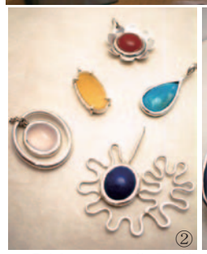
生まれ育った地域の環境と家族が大好きだという新田さん。いずれは三本木に戻ろうと考えてはいましたが、本場である金沢で今後も活動を続けようかと迷っていたとき、古川出身の画家、標葉千香子さんがアトリエを開くことを聞き、「お会いして話をしているうちに、私も独立して作品づくりをしていく勇気が沸いてきました」と戻る決意をします。

ジャンルは違っても標葉さんから受ける影響は大きく「制作に対する姿勢などとても尊敬しています。相談したり励まされたり、とても心強いです」と話します。

将来は美術や工芸に興味のある子どもたちに教室を開いて教えるなど、美術の普及にも携っていきたいという新田さん。沸き起こるイメージをアートに変えて「花言葉」から発信しています。

1981　三本木出身
2002　秋田公立美術短期大学
　　工芸美術鋳金コース卒業
2004　富山県高岡市産業技術養成スクール
　　彫金基礎・造形コース修了
2007　金沢卯辰山工芸工房　金工工房修了
【活動歴】
2003　砺波市美術展奨励賞
2003　富山県女性美術展佳作
2005　第61回金沢市工芸展
　　金沢市工芸協会会長奨励賞
2005　WORKS －金沢卯辰山工芸工房の現在－
　　（15人のグループ展）ワコール銀座アートスペース
2005　「1000の小箱展」感覚ミュージアム
2005　「ざぶん賞」参加
2006　BIGFOOTでクラフト展（15人のグループ展）
2006　国民文化祭・やまぐち2006 美術展入選
2007　「遊彩工房 花言葉」で標葉千香子さんと展示





▲①新田さんの作品。鍛金、彫金細工など多彩。②③今はアクセサリーに力を入れています。自然や羽をモチーフにしたペンダントトップ。

「遊彩工房 花言葉」
三本木桑折多高田 15　☎ 52-5917

＊1 鋳金　金属を溶かして鋳型に流し込んで器物を作る技法。＊2 彫金　たがねを使って金属に彫刻する技法。＊3 鍛金　金属を叩いて形を作る技法。